

令和7年度 日本語指導力養成研修 実施要項

1 目的 大阪府における帰国・渡日の子どもたちへの教育の現状と課題について理解し、日本語指導の在り方や進め方について認識を深めるとともに、子どもたちへの効果的な日本語指導や支援の方法について学ぶ。

2 対象 小・中・義務教育学校、府立学校の教職員

募集人数 50名

3 日時等

回	日時	主題等	講師等
1	オンデマンド開催 7月17日(木) ～ 8月1日(金)	大阪府における帰国・渡日の子どもたちへの教育の現状と課題について 日本語指導のためのワークショップ① ー日本語指導の必要な子どもたちの理解と支援の在り方についてー 〔講義・演習〕	大阪府教育センター 指導主事等 日本語教育支援グループ ことのは 副理事長 安田 乙世
2	8月5日(火) 13:00～17:00	子どもたちの母語や母文化を尊重するために ー韓国・朝鮮語を例に挙げてー 日本語指導のためのワークショップ② ー日本語指導の必要な子どもたちの理解と支援の在り方についてー 〔講義・演習〕	府立学校教職員 日本語教育支援グループ ことのは 副理事長 安田 乙世

※太字の時間帯は、通常の時間帯と異なるので注意してください。

4 会場 第1回 所属校等

第2回 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m

JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m

近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 その他
- (1) 受付は30分前から。
 - (2) 来所時には、所属名・名前の入った名札を着用すること。
 - (3) 大阪府教育センターに、自家用自動車・バイク等の駐車はできません。
 - (4) (受講決定後～当日) Plant で、事前連絡や課題等がないか確認すること。

6 担当室 人権教育研究室

一括募集1

令和7年度 日本語指導力養成研修 シラバス

1 目的

大阪府における帰国・渡日の子どもたちへの教育の現状と課題について理解し、日本語指導の在り方や進め方について認識を深めるとともに、子どもたちへの効果的な日本語指導や支援の方法について学ぶ。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期															
第2期									○	○	○		○	○	
第1期															
第0期															

3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	大阪府における帰国・渡日の子どもたちへの教育	帰国・渡日の子どもたちをとりまく現状と課題について理解する。	講義を通して、大阪府内の帰国・渡日の子どもたちへの教育の現状と課題について学ぶ。	
	日本語指導のためのワークショップ ー日本語指導の必要な子どもたちの理解と支援の在り方についてー	日本語指導の必要な子どもたちの背景や課題及び支援の在り方について理解する。	講義、演習を通して、日本語指導の必要な子どもたちの状況を踏まえた支援の在り方や、意欲を持って学べる授業づくりの実際について学ぶ。	
2	子どもたちの母語や母文化を尊重するために ー韓国・朝鮮語を例に挙げてー	日本語指導の必要な子どもたちへの母語・母文化の保障の重要性について理解する。	講義を通して、母語・母文化の喪失による家族間コミュニケーションの断絶や、民族的アイデンティティの揺らぎ等の解決のために大切な母語・母文化の保障について学ぶ。	事前課題 「日本語指導のためのワークショップ①」を視聴し、ワークシートに必要事項を記入しておく。
	日本語指導のためのワークショップ ー日本語指導の必要な子どもたちの理解と支援の在り方についてー	日本語指導の必要な子どもたちの背景や課題及び支援の在り方について認識を深める。	第1回のワークショップの内容をふまえ、講義・演習、意見交流を通して、自校における日本語指導の必要な子どもへの効果的な支援の在り方について考える。	

準備物

事前課題(記入したワークシート)を2部持参する。